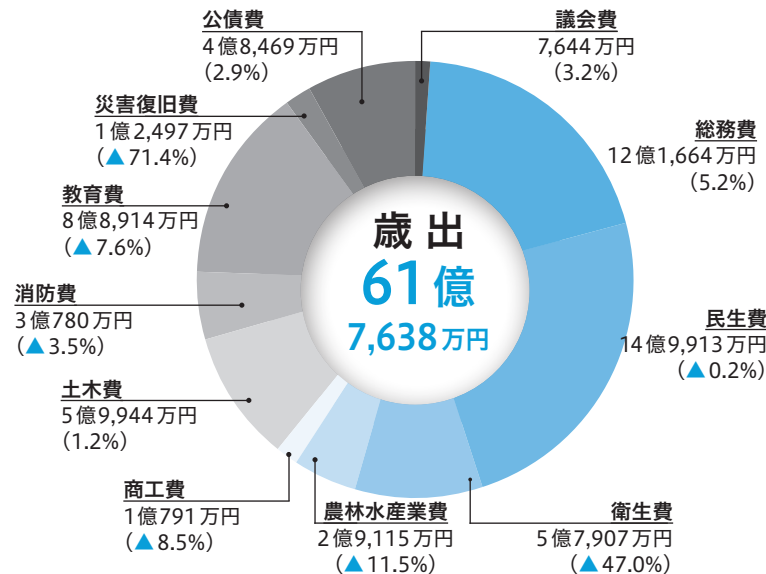


歳出の特徴

令和5年度歳出決算の主な特徴は、将来の財政需要に備えるため、公共施設維持管理基金などへの積み立てにより総務費が増加した一方で、令和4年3月の本県沖地震に係る災害復旧事業の完了による災害復旧費の減少、さらに災害廃棄物処理事業（被災家屋公費解体）の完了により、衛生費が減少しました。



性質別歳出内訳 ※（ ）前年度比増減率

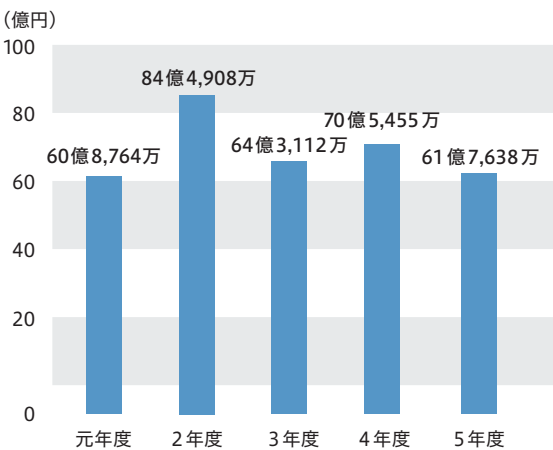
41.0% (6.0%)	義務的経費 25億2,548万円 人件費 13億5,011万円 扶助費※1 6億8,899万円 公債費 4億8,638万円 ※1 児童・高齢者・障がい者・生活困窮者を福祉の面で支えるお金
9.3% (▲61.0%)	投資的経費 5億7,871万円 普通建設事業費 4億4,762万円 災害復旧事業費 1億3,109万円
49.8% (▲3.6%)	一般的経費 30億7,219万円 物件費 10億9,260万円 繰出金※2 7億7,750万円 補助費など 7億 407万円 その他 4億9,802万円 ※2 一般会計から他会計や各種基金へ繰り出すための経費

町民1人あたりの歳出決算額

費 目	決算額	対前年度増減額
民生費	136,000円	939
総務費	110,372円	6,473
教育費	80,662円	▲5,847
土木費	54,380円	1,138
衛生費	52,533円	▲45,724
公債費	43,971円	1,643
消防費	27,924円	▲756
農林水産業費	26,413円	▲3,147
災害復旧費	11,337円	▲27,933
商工費	9,790円	▲806
議会費	6,935円	278
諸支出金	0円	0
合計	560,317円	▲73,742

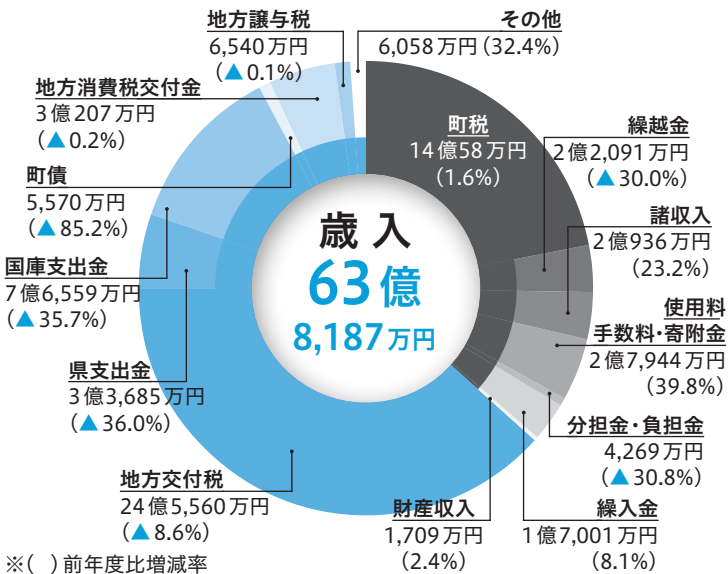
※令和6年3月31日現在の人口11,203人をもとに算出

歳出決算額の推移



歳入の特徴

令和5年度歳入決算の主な特徴は、令和4年3月の本県沖地震に係る災害復旧事業の完了により、財源としていた国・県支出金および町債などが減少した一方で、町産桃をはじめとしたふるさと納税の返礼品が好評だったことから、寄附金が増加しました。



※（ ）前年度比増減率

決算とは、皆さんが納付した税金や、国や県からの補助金・交付金などがいくら入ってきて、どのような目的で使ったかを明らかにする「町の家計簿」のようなもので、町の1年間のあゆみ・記録となります。

町総合計画の前期計画期間の中間年次となる令和5年度は、歳入総額63億8,187万円（前年度比14・9%減）、歳出総額61億7,638万円（前年度比12・4%減）、歳入歳出差引額は、2億549万円となりました。このうち、やむを得ず翌年度繰越事業となった財源5,378万円を差し引いた1億5,171万円が剰余金となり、決算は黒字でした。剰余金のうち、7,600万円を財政調整基金に積み立て、残り7,571万円を翌年度に繰り越しました。

予算の執行では、事業の重点選択化と経費節減・合理化を図り、国や県からの補助金など特定財源を確保しながら、財源の重点的かつ効果的な配分を行い、健全な財政運営に努めました。

特別会計決算

会計区分	歳 入	歳 出	差引額
国民健康保険	12億8,624万円	12億3,086万円	5,538万円
後期高齢者医療	1億9,891万円	1億9,832万円	59万円
介護保険	18億 350万円	16億3,057万円	1億7,293万円
公共下水道事業	3億2,462万円	2億6,616万円	5,846万円
半田財産区	256万円	226万円	30万円

各種基金の残高 （令和5年度末）

会計区分	基金名	令和4年度末残高 (A)	令和5年度積立額 (B)	令和5年度取崩額 (C)	令和5年度末残高 (A) + (B) - (C)
一般会計	取崩し型				
	財政調整基金	14億2,057万円	2億2,125万円	—	16億4,182万円
	減債基金	1億3,375万円	—	—	1億3,375万円
	その他特定目的基金	9億6,863万円	4億1,032万円	1億6,954万円	12億 941万円
	定額運用型				
	土地開発基金	1億2,021万円	—	—	1億2,021万円
	奨学基金	8,000万円	—	—	8,000万円
合計		27億2,316万円	6億3,157万円	1億6,954万円	31億8,519万円
国民健康保険	国民健康保険基金	8,409万円	500万円	—	8,909万円
介護保険	介護給付費準備基金	1億1,915万円	6,090万円	—	1億8,005万円
半田財産区	財政調整基金	1,836万円	214万円	—	2,050万円

水道事業会計

会計区分	収 入	支 出	差引額
収益的収支	3億7,382万円	3億887万円	6,495万円
資本的収支	—	8,170万円	▲8,170万円

※資本的収支の不足額8,170万円は、留保資金、消費税、地方消費税資本的収支調整額および積立金で補てんしました。

用語の説明

【一般会計】 福祉や教育、土木といった一般的な事業に使われ、町の事業の基本となる会計	【繰入金】 各種基金や他会計から一般会計へ繰り入れるお金
【自主財源】 町税や使用料など、町が自主的に収入できるお金	【地方交付税】 自治体の財政力に応じ、国から交付されるお金
【依存財源】 地方交付税など、国や県の意味によって額が決められ、割り当てられるお金	【国庫・県支出金】 特定の目的のために、国や県から交付されるお金
【町税】 住民が町に納める税金	【町債】 国や銀行などからの借入金
	【公債費】 町債の返済に使うお金

令和5年度町財政の「健全化判断比率」「資金不足比率」「経常収支比率」

財政健全化法に基づく指標として、健全化判断比率、資金不足比率がありますが、いずれも基準値内であることから、財政の健全性が保たれています。実質公債費比率は、令和4年3月本県沖地震災害復旧事業に係る借入に伴い、元利償還金が増加したことで、0.2ポイント増加しました。将来負担比率は、町債償還の着実な進展により借入金残高が減少したことなどにより皆減となりました。

実質公債費比率

一般会計などが負担する地方債償還金（借金の返済）の標準財政規模※1に対する割合の3か年平均値。町が年間どのくらいを借金返済に充てているかを指標化したもの。家計に例えれば、借金返済額の年収に占める割合。

実質公債費比率・将来負担比率ともに基準値内であり、**財政の健全性が保たれている** 状況です。

(単位：％)				
区 分		3 年度	4 年度	5 年度
健全化判断比率	実質赤字比率 (15.0)	－	－	－
	連結実質赤字比率 (20.0)	－	－	－
	実質公債費比率 (25.0)	9.2	9.2	9.4
	将来負担比率 (350.0)	14.0	5.4	－
資金不足比率 (20.0)	水道事業会計	－	－	－
	公共下水道事業特別会計	－	－	－
経常収支比率		88.1	87.6	89.4

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は、赤字額がないため「－」と記載しています。将来負担比率は、マイナスとなり負担が発生していないため「－」と記載しています。資金不足比率は、資金不足がないため「－」と記載しています。
() 内は、早期健全化基準であり、これを超えた場合は、財政健全化団体（黄色信号）として自主的・計画的な改善が義務付けられています。

将来負担比率

一般会計などが将来負担する実質的負債の標準財政規模※1に対する割合。将来負担見込額から基金などを控除したものが年間収入の何％に相当するかを指標化したもの。家計に例えれば、借金残高の年収に占める割合。

経常収支比率

経常的経費(人件費や扶助費など)の経常的に収入される一般財源に対する割合。財政構造の弾力性を指標化。比率が低いほど新規事業に充てられる。家計に例えれば、生活費など固定費の給料に占める割合。令和5年度県市町村平均は88.0％。

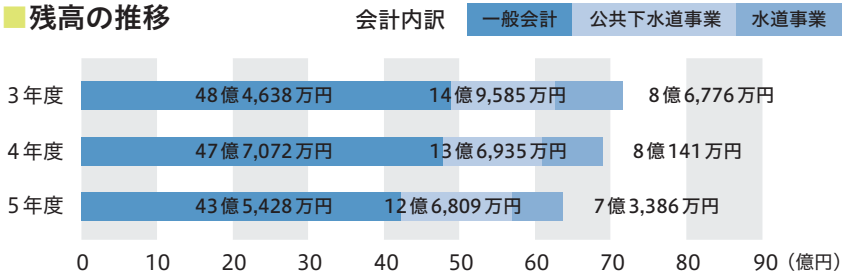
※1 標準財政規模…その地方公共団体が標準的な行政活動を行う上で通常見込まれる一般財源（使途の特定がない財源）の規模〔桑折町はおおむね38億円程度〕

町債の状況

町債残高は、実質公債費比率と将来負担比率に大きく関わってきます。右記のグラフは、過去3年間の各会計の推移です。

令和5年度末 町債などの残高

会計区分		4 年度末残高 (A)	5 年度借入額 (B)	5 年度償還元金 (C)	5 年度末残高 (A) + (B) - (C)
町債	一般会計	47 億 7,072 万円	5,570 万円	4 億 7,214 万円	43 億 5,428 万円
	公共下水道事業特別会計	13 億 6,935 万円	4,520 万円	1 億 4,646 万円	12 億 6,809 万円
企業債	水道事業会計	8 億 141 万円	－	6,755 万円	7 億 3,386 万円



令和5年度
主な使いみち

重点プロジェクト	(単位：万円)
相馬福島道路伊達桑折 IC 周辺土地利用検討事業	851
献上桃 30 周年記念事業	854
地域防災力強化事業	4,756
住宅用再生可能エネルギーシステム設備等設置費補助事業	346
こおり健康楽会事業	211
親子スポーツ・健康事業	304
英語教育推進事業（中学生の異文化体験事業）	232
旧伊達郡役所開庁 140 周年記念事業	989
活力と賑わいに満ちたまちづくり	
農業の振興（地域おこし協力隊委託事業、有害鳥獣対策事業など）	11,210
商工業の振興（桑折町商工業振興事業、空き店舗出店支援事業など）	759
土地利用の推進（町都市計画マスタープランの見直し、都市再生整備計画第 2 期策定業務）	304
危機管理に備えた安全安心のまちづくり	
消防・防災の強化（町消防団運営、伊達地方消防組合運営負担金など）	28,773
生活安全対策の推進（防犯灯整備・維持管理事業、交通安全対策事業など）	939
暮らしと自然が調和した豊かさを実感できるまちづくり	
都市緑化・景観づくりの推進（緑地公園維持管理事業）	1,652
道路・交通ネットワークの整備（町道新設改良事業、橋梁維持事業など）	18,779
居住環境の充実（町営住宅の維持修繕・長寿命化、合併処理浄化槽設置整備補助など）	3,183
環境共生の推進（ごみ減量および再資源化推進事業、環境保全啓発看板作成事業）	23
森林環境の保全（ふくしま森林再生事業）	1,356
環境衛生の充実（伊達地方衛生処理組合運営負担金、電動生ごみ処理器購入助成事業など）	9,262

令和6年度

一般会計上半期予算状況

予算補正の主なもの

定額減税補足給付事業（調整給付）	9,772 万円
新型コロナウイルス定期接種ワクチン確保事業	2,158 万円

健康長寿で元気なまちづくり	
健康づくりと医療の推進（各種がん検診、新型コロナウイルスワクチン接種事業など）	9,010
地域福祉と障がい者福祉の推進（障がい者福祉扶助費、地域生活支援拠点等整備事業など）	32,458
高齢者福祉の推進（敬老の日記念事業、「献上桃の郷」おでかけパス利用助成事業など）	1,661
生涯学習の推進（生涯学習推進基本計画（第 3 次）策定業務）	231
生涯スポーツの推進（元気な体づくり運動教室、部活動地域移行関係者協議会）	233
活力と賑わいに満ちたまちづくり	
子育て支援の充実（子ども医療費助成事業、ネウボラ事業など）	7,622
乳幼児保育と教育の充実（保育所運営業務、幼稚園運営業務など）	22,159
学校教育の推進（学校給食費保護者負担軽減事業、特別支援教育の充実など）	12,300
交流で絆を育むまちづくり	
観光交流の振興（観光地周遊デジタルスタンプラリー事業、賑わい創出事業（伊達崎マルシェ）など）	4,725
歴史まちづくりの推進（桑折西山城跡を守る会事業補助金）	50
移住・定住の促進（移住定住 PR 促進事業、若者定住促進事業など）	1,653
シティプロモーションの推進（仙台圏域 PR 事業など）	708
町民との共創と効率的な行財政運営	
健全で持続可能な財政運営（ふるさと納税受付業務及び返礼品発送事業、コンビニ収納業務）	9,363
行政機能の充実強化（証明書等コンビニ交付サービス、デジタルデバйд対策事業など）	429
誰もが参加できるまちづくりの推進（SDGs 推進町民会議事業費補助金）	91
広報・広聴の充実（広報こおり発行・町ホームページ運用管理業務）	483
新型コロナウイルス感染症関連物価高騰対策関連	
新型コロナ感染症対応地方創生臨時交付金事業（こおりプレミアム商品券発行事業など）	8,098
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業（子育て応援商品券給付事業など）	10,689

今年度の当初予算総額は63億2,940万円でしたが、その後の予算補正により9月末の予算現額は、65億7,930万円となりました。

住民税非課税世帯等への臨時特別給付事業	2,097 万円
低所得者の子育て世帯への加算給付事業	245 万円